

No. 10-8

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 10 - 8

<b>事業分類</b>		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		<b>公的関与</b>		1		<b>作成日</b>		26年 6月 16日		
<b>事務事業名</b>		介護保険料徴収事務						<b>シート作成部署</b>				
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>基本施策</b>	2 人にやさしいまち						<b>課名</b>	長寿福祉課		<b>係名</b>	高齢福祉係
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる							<b>シート作成者</b>			
	<b>施策</b>	2-2-3 高齢者福祉の推進						<b>予算費目</b>	<b>会計</b>		介	
									<b>款</b>		1	
<b>主要施策</b>	① 高齢者支援推進体制の整備						<b>項</b>		2			
							<b>目</b>		1			
<b>個別計画名</b>		高齢者福祉計画										
		介護保険事業計画										
<b>住民との関わり</b>		特になし										
<b>事業の対象・目的・内容</b>	<b>対象（誰を、何を）</b>				<b>目的（どういう状態にしたいのか）</b>							
	65歳以上の第1号被保険者 介護保険料				負担の公平性を確保する。							
	<b>事業内容（どのような方法で、何を行うのか）</b> 介護保険料の納付書、督促状、催告書の発送。 電話による納付周知、個別訪問による徴収を行う。											
<b>事業期間</b>		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 12年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし										
<b>根拠法令・要綱等</b>		介護保険法、東員町介護保険条例										
		<b>平成24年度（決算）</b>			<b>平成25年度（決算）</b>			<b>平成26年度（予算）</b>				
<b>全体事業費（千円）A+B</b>		18,610			18,849			18,864				
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>		0			0			0			
	<b>県支出金</b>		0			0			0			
	<b>地方債</b>		0			0			0			
	<b>その他特定財源</b>		0			0			0			
	<b>一般財源</b>		2,044			2,283			2,298			
<b>直接事業費（千円）A</b>		2,044			2,283			2,298				
<b>人件費（千円）B</b>		16,566			16,566			16,566				
<b>内訳</b>	<b>一般職員（人・千円）</b>		2.51 人 16,566		2.51 人 16,566		2.51 人 16,566					
	<b>臨時職員（人・千円）</b>		人 0		人 0		人 0					
<b>成果指標</b>	<b>成果指標名</b>				<b>単位</b>	<b>25年度</b>		<b>26年度</b>	<b>27年度</b>			
						<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>（目標）</b>	<b>（目標）</b>			
	①	現年介護保険料収納率			%	99.4	99.3	99.5				
	②											
③												
	<b>説明</b>	徴収率は、徴収事務における明確な指標数値である。										

事業名	介護保険料徴収事務	シート作成課	長寿福祉課
-----	-----------	--------	-------

一次評価者	長寿福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

本事務事業の実施適切性の説明

法令を遵守し、適正に介護保険事業を行っています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
今後の改革・改善目標	高い徴収率を維持しており、今後も徴収率の向上に努力し、普通徴収者の保険料の口座振替の推進や、納期の周知を町広報等を活用し実施します。また、保険料の徴収にあたって介護保険制度は社会相互扶助の考え方に基づいていることも理解を求めていきます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	D	C
コメント	効率よく事務を進めておりますが、普通徴収者の保険料滞納額が徐々に増えております。介護保険制度に理解を求めて、今後は更に徴収率向上の努力が必要です。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--